

青工研かわら版 6月号 vol 2



第2ブロック 第3回 ブロック会

テーマ 己に克て！2～関心を持ち行動を起こし着想を養う～



開催日 2022年6月15日
時間 19:00～22:00
開催場所 BolBol (ボルダリング施設)
<https://bol-bol.com/>
担当者① 大類寛希 (ユタカ精工株式会社)
<https://www.yutaka-seiko.co.jp/>
担当者② 福田信也 (株式会社キャリアリターン)
<https://www.cr-l.jp/>

ブロック会の目的と手段

本ブロック会は、担当者が共通の課題としている、人や物事に対する無関心の脱却を目的に実施されました。

担当者は、初めてボルダリングを行う事で、経営に繋がるヒントを得る事と無関心からの脱却に挑戦しました。

皆で挑戦をサポート

各々がボルダリングに挑戦している最中は、皆で応援の声掛けや、登る為のアドバイスをし、それぞれがサポートを行っていました。



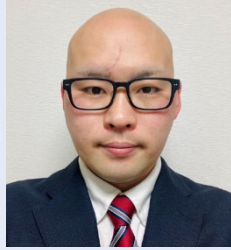
ボルダリングを通じて学んだ事

ボルダリング後の討議では、「登るルートを見極める為の準備（計画）が重要」である事や、「登る為には実行する力（実行力）が無いと出来ない」、「周りからの応援が力（巻き込む力）になる」など、経営に繋がる新たな視点の獲得や再確認を行う事が出来たという意見が多く出ました。

また、ブロック員から担当者に対して一歩踏み込んだ助言があり、その後、担当者から今回学んだ事を会社に活かしていくかを纏め終了となりました。

担当者（企画者）① 大類寛希

今回のブロック会では、自分自身が無関心でやろうとしなかった事、やった事が無い新しい事への挑戦を行ったブロック会でした。ブロック員の皆様からもご指摘を頂いた様に、ブロック会に臨む姿勢に消極的な部分もあり課題の残るブロック会となってしまいました。



しかしこの様な中でも、準備やブロック会を通じて、新たな視点や新しい事に取り組む為の姿勢は養えたと感じています。

新しい事への取組みに消極的な自分自身からさらに脱却する為に、来月以降も継続して、新たな事に挑戦をしていきます。

担当者（企画者）② 福田信也

ボルダリングを通じて新たな体験を得ました。

少し距離をおいたコースの見定めや自己の状態によるチャレンジの選定などは、経営における自社の状態の把握、市場の冷静な見定めそのものだと認識しました。



自社の拡大を目指すにあたり、このブロック会で得た感覚と経験を遺憾なく活かしてまいります。

今後もペアの大類さんと共にこのような体験を重ね、感覚を磨いてまいります。

私もボルダリングに初めて挑戦しましたが、多くの事が経営に繋がると気付きました。

特に、登るのが難しい壁に挑戦している際は、多くの応援の声を頂きました。周りから応援される経営者になるには、挑戦する行動を魅せる事の大切さを学びました。